

## 県単希少生物保全推進事業実施要領

(趣 旨)

第1条 本来農村地域においては、水田・ため池・水路などの二次的自然が有機的に連携し多種多様な生態系を保持しながら農業活動が営まれているが、従来の農業農村整備事業では、経済性や維持管理の軽減を重視した工法を採用してきたことから、しばしば生物の多様性が失われることがあった。

したがって、生態系に配慮した農業農村整備を一層進め、住民協働により自然と共生する農村を創造する県単希少生物保全推進事業（以下「事業」という。）を実施するものである。

なお、本事業に対し、予算の範囲内で該当する事業主体に補助金を交付するものとし、その交付に関しては、岐阜県補助金等交付規則（昭和57年岐阜県規則第8号。以下「規則」という。）、岐阜県農業農村整備事業補助金交付要綱（平成18年4月1日農計第24号農政部長通知。以下「要綱」という。）及び岐阜県農業農村整備事業補助金等確認要領（平成18年4月1日付け農整第251号農政部長通知。以下「確認要領」という。）に定めるもののほか、この実施要領の定めるところによる。

(事業内容)

第2条 農業農村整備事業を実施するにあたり、地域として保全が必要とされる希少生物及び生態系（以下「希少生物等」という。）に配慮した工法（以下「環境配慮工法」という。）を採用する場合、従来工法との差額にかかる工事費の地元負担分（市町村負担分は除く）について県が負担する。

(希少生物等)

第3条 第2条で定める希少生物等とは次のとおりである。

- 1 「日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト（レッドリスト）……環境省」、「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物（岐阜県レッドデータブック）」等に登載されている絶滅危惧種等の生物
- 2 1の規定以外の地域として保全が必要とされる生態系

(採択要件)

第4条 次に掲げる1及び2の要件を満たすこと

- 1 県営農業農村整備事業において、事業の対象となる工事を当該年度に実施する地区であること
- 2 地域住民の希少生物等の保全に対する意識が高く、環境配慮の工法の検討及び造成された施設等の維持管理方法について、住民協働体制が整っていること

(事業費)

第5条 事業費の算出方法は次のとおりとする。

事業費＝（環境配慮工法による工事費－従来工法による工事費）×地元負担率

(事業主体)

第6条 事業主体は、市町村・土地改良区とする。

(事業の採択及び通知等)

第7条

- 1 事業主体は、事業を実施しようとするときは、別記様式第1号による県単希少生物保全推進事業採択申請書に別記様式第3号による「事業計画書」を添付のうえ、所管の農林事務所長を経由して知事に提出するものとする。

2 農林事務所長は、1の事業主体からの申請の内容が適当であると認めるときは、  
経由印押印の上知事に提出するものとする。

3 知事は、2の規定による提出のあった申請書等を審査し、申請に係る地区が第  
4条の採択要件を満たし、かつ、事業を実施することが適当であると認めるとき  
は、当該事業を採択し、別記様式第2号により農林事務所長を経由して事業主体  
に通知するものとする。

(補助金の交付等の事務について)

第8条 本事業の補助金の交付等事務については、「岐阜県農業農村整備事業関係補  
助金交付事務取扱要領」(平成18年4月1日付け農整第40号。以下「事務取扱  
要領」という。)第3条から第11条を準用する。

附 則

この要領は、平成15年 7月 1日より施行する。

附 則

この要領は、平成18年 4月 1日より施行する。

附 則

この要領は、平成19年 4月 1日より施行する。

附 則

この要領は、平成26年 4月 1日より施行する。

別記様式第1号

平成 第 年 月 日

岐阜県知事 様

事業主体名

県単希少生物保全推進事業採択申請書

下記地区において、県単希少生物保全推進事業を採択されたく、県単希少生物保全推進事業実施要領第7条第1項の規定に基づき、下記資料を添えて申請します。

記

- 1 地区名
- 2 県単希少生物保全推進事業の事業計画書（別記様式3）

別記様式第2号

平成 第 年 月 日

事業主体 様

岐阜県知事

県単希少生物保全推進事業採択通知書

平成 年 月 日付け 第 号で採択申請のあった下記地区について実施地区として採択したので通知します。

記

1 地区名



別記様式第3号 希少生物保全推進事業 設計箇所表

事業名			
地区名			
所在地		地域	都市近郊、田園平地、丘陵地、山間地
地域の特徴			
受益面積	ha	工期	年度 ~ 年度
概要			
総事業費	千円		
生物調査 実施状況	春	年 月 日	調査者
	夏	年 月 日	調査者
	秋	年 月 日	調査者
生物の状況（地区の計画概要図（A4）に確認位置を記入）		希少程度	
植物			
鳥類			
昆虫類			
魚類			
両生類			
甲殻類			
貝類			
地域住民活動の実施状況と今後の予定			
設計上の対応 対象生物：			
今回設計額			
従来工法額			
従来工法からの増額			
地元負担金			

事業名	
地区名	

○希少生物保全工法の概要

工種  
対象生物 :  
設計金額 :  
工法・意図等

工法図

○従来工法の概要

工法 :  
設計金額 :  
工法図

※現況写真、積算根拠を添付すること。

